

平成30年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|--|----------------|------------|
| 事業所番号 | 1495400440 | 事業の開始年月日 | 平成28年9月1日 |
| | | 指定年月日 | 平成28年9月1日 |
| 法人名 | 株式会社日本アメニティライフ協会 | | |
| 事業所名 | 花物語たま北 | | |
| 所在地 | (214-0003) 神奈川県川崎市多摩区菅稲田堤3-18-1 | | |
| サービス種別 | <input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 | 登録定員 | 名 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護 | 通い定員 | 名 |
| 定員等 | | 宿泊定員 | 名 |
| | | 定員計 | 18名 |
| | | ユニット数 | 2 ユニット |
| 自己評価作成日 | 平成30年10月22日 | 評価結果 市町村受理日 | 平成31年4月12日 |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/ |
|----------|---|

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

稲城の梨畑と閑静な住宅地に囲まれた2ユニットのグループホームです。近隣には二ヶ領用水の桜並木や、多摩川が見渡せ、晴天時には富士山も一望できます。夏には花火大会も鑑賞することができ、四季を感じる事ができます。地域に開かれた事業所を目指している為、併設の地域交流スペースの開放にて、地域住民の方々との交流をはかっております。ご利用者様、お一人お一人の気持ちに寄り添い、「できること」を尊重した支援を心がけ、安心して施設での生活をおくれるようにサービスを提供しております。

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-------------------------------------|---------------|------------|
| 評価機関名 | 株式会社フィールズ | | |
| 所在地 | 251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階 | | |
| 訪問調査日 | 平成30年12月14日 | 評価機関 評価決定日 | 平成31年3月14日 |

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は、JR南武線「稲田堤駅」より歩いて10分ほどの場所にあります。鉄骨3階建てで2階・3階部分が2ユニットのグループホームです。1階には同系列の小規模多機能型居宅介護事業所と地域住民に開放している地域交流スペースを設けています。周りには、当地特産の多摩川梨園が広がり、真正面に多摩川を見渡すこともできます。飛来するカモやカモメ、カワウ、春には多摩川沿いに咲く桜、夏の多摩川の花火大会など、利用者は、四季折々を楽しめる自然豊かな地域で暮らしています。

<優れている点>

運営推進会議を2ヶ月に1回開催しています。会議には、多摩区役所や地域包括支援センター職員、建屋オーナー、利用者、利用者家族、法人職員などの参加があります。ホームから現状報告、具体的な課題を伝え、参加者からは取り組みへの助言や情報などを得る貴重な会議となっています。多岐に亘る参加者から意見や支援を得ることで更なる地域密着型のホームにしていきたいとしています。

<工夫点>

1階にミニキッチンやトイレのある地域交流スペースを設けています。地域の子育て親子の集まり、趣味の会の練習やホーム主催の行事などに多くの住民たちが利用しています。時には、利用者も見学して楽しい会話が弾んでいます。ホームでは、地域住民に専門的な知識を活かした講習会などを催し、地域で必要とされる活動や役割を積極的に担っていく意向です。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

| 評価項目の領域 | 自己評価項目 | 外部評価項目 |
|------------------------------|---------|---------|
| I 理念に基づく運営 | 1 ~ 14 | 1 ~ 7 |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 15 ~ 22 | 8 |
| III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 23 ~ 35 | 9 ~ 13 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 36 ~ 55 | 14 ~ 20 |
| V アウトカム項目 | 56 ~ 68 | |

| | |
|-------|--------|
| 事業所名 | 花物語たま北 |
| ユニット名 | 2階 |

| V アウトカム項目 | | | |
|-----------|---|---|----------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者の |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいの |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいの |
| | | | 4. ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ | 1, 毎日ある |
| | | | 2, 数日に1回程度ある |
| | | | 3. たまにある |
| | | | 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |

| | | | |
|----|---|---|----------------|
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1, ほぼ全ての家族と |
| | | | 2, 家族の2/3くらいと |
| | | | 3. 家族の1/3くらいと |
| | | | 4. ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1, ほぼ毎日のように |
| | | | 2, 数日に1回程度ある |
| | | | 3. たまに |
| | | | 4. ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えています。 (参考項目：4) | ○ | 1, 大いに増えている |
| | | | 2, 少しずつ増えている |
| | | | 3. あまり増えていない |
| | | | 4. 全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | ○ | 1, ほぼ全ての職員が |
| | | | 2, 職員の2/3くらいが |
| | | | 3. 職員の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1, ほぼ全ての家族等が |
| | | | 2, 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3. 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。 | 職員の目のとどく場所に理念の用紙を設置したり申し送りや会議などで話し合い職員と理念を共有し実践にむけて取り組んでいる。 | 理念は開設当時に職員全員で作成しています。日々、利用者や職員同士のかかわりの中で理念が浸透しているかどうか、申し送りや会議などで機会あるごとに確認し、共有しています。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。 | 地域交流スペースを活用することにより近隣住民の方々とご利用者が交流できるよう事業所主催のイベントを開催している。 | 1階に同一法人の小規模多機能型居宅介護事業所と地域交流スペースが併設されており、1階を利用する人々との日常的な交流やホーム主催の行事などに沢山の人が参加するなど、地域住民との交流は積極的に行われています。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。 | 地域交流スペースをご利用された近隣住民の皆様に事業所での支援の方法や認知症の方の理解をしていただけるよう情報を提供している。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 2ヶ月に一度開催している。参加者はご家族、多摩区役所職員、町内会役員、オーナー、事業所職員です。活動状況などを報告し、会議でのご意見をサービスの向上にいかせている。 | 運営推進会議では、ホームの現状を真摯に報告し、課題における取り組みなども説明しています。多岐に亘る参加者から意見、要望、助言などを得た上で職員間で検討し、改善、反映に繋げ、更なるサービスの向上に向けた支援に取り組んでいます。 | |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。 | 日頃から区役所の担当者の方と密に連絡をとったり、運営推進会議などで情報交換や相談できる関係を築く事ができている。 | 区の高齢・障害支援課や地域包括支援センターなど、ホームに関係する役所の担当者とは、日ごろから密に連絡をとっています。また、運営推進会議では、毎回区役所職員の参加があり、助言をもらったり、地域における情報なども共有しています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | ミーティングや勉強会、ケアカンファレンスなどで職員と話し合い身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 年間の研修計画があり、毎年、身体拘束をしないケアの実践について学習をしています。日常的な支援で身体拘束にあたると考えられる具体的な行為などを職員間で話し合っています。安全を確保しつつ利用者の自由な暮らしが守れるよう、一人ひとりに寄り添う支援に努めています。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。 | 虐待防止マニュアルを参照し勉強会をおこなう事で虐待を見過ごさないよう取り組んでいる。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している。 | 管理者を中心に勉強会やカンファレンスなどで学ぶ機会をもち、活用できるように支援している。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。 | 入居時にご本人やご家族に事業所についての不安や疑問がないように説明をし理解していただいている。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 契約時の苦情相談窓口の説明や、入居者やご家族がご意見、ご要望などを話せる雰囲気づくりに配慮している。 | 1対1での散歩、入浴や日常の支援から、利用者本人の意見や要望を、さりげなく聞き出せる雰囲気に努めています。訪問時家族からの「部屋の掃除を徹底的にしてほしい」との要望から、朝番が丁寧に行うように役割分担を変更し、改善しています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | 毎朝の申し送り時などで意見や要望を聞く場として活用し、だされた意見などは会議などで精査し反映させている。 | 管理者は月に1回または、職員の様子を見ながら必要に応じて個人面談を行い、職員の意見や提案を聞く機会を設けています。日勤と夜勤の仕事の振り替えや役割分担、シフト調整などを改善し、職員の働く意欲に繋げています。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。 | 定期的に個人面談をおこない、勤務状況の把握し意見や相談がある場合は出来る限り希望を反映させるよう努めている。無資格者には資格取得支援制度などの奨学金制度も整備し向上心をもてるような環境に努めています。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。 | 資格取得の推奨や外部への研修などスキルやモチベーションの向上を働きかけています。法人内の別の施設の職員を受け入れ気づきなどについても学んでいます。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。 | 地域包括と連携をとり同じ地域の介護事業所の管理者やケアマネージャーを招き地域交流スペースにて意見交換や活動状況を報告しサービスの質の向上に努めています。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。 | 入居前に直接ご本人に要望や不安な事を聞き取り、アセスメントに反映させ会話の機会を多くもつことで信頼関係の構築につながるよう取り組んでいます。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。 | ご本人やご家族が困っている事や不安な事要望などを聞き取り介護支援計画書に反映させ安心して利用していただけるように努めています。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | 認知症の度合いやおかれている環境を把握し、必要とされているサービスに繋がられるように努めています。またグループホームに適切かどうかも考慮し場合によっては小規模多機能居宅介護や療養型の事業所への紹介をおこなっております。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。 | ご本人の意思を尊重しながら、ADLや意欲にそった方法で個性を考慮した支援をおこなっています。他者や職員と協力し生活する事で暮らしを共にする物同士の関係性の構築に努めています。 | | |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。 | ご家族の意見も反映し、ご本人の情報を家族と共有することで一方通行にならないように心がけています。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 | 馴染みの方々に施設までお越しいただき、ご入居前と同じ友人関係の維持に努めています。 | 可能な限り、本人の思いに沿うように努めています。毎週同じ曜日の10時から16時まで、友人が昼食持参で訪問する利用者がいます。また、誕生日に、家族と一緒に外出に出かける利用者など、これまでの関係を大切に続けられる支援に努めています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。 | 日々のレクリエーションやお誕生日会、季節の行事などの交流を通して良好な関係が構築できるように支援しています。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | ご家族を通じて情報提供などの支援をおこなっております。入院時にはお見舞いやお手紙などによりよい関係が継続できるように努めています。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 日常のかかわりのなかで表情や仕草、会話などから汲み取っています。アセスメントをおこない申し送りやカンファレンスにて思いや意向が把握できるように努めています。 | 職員全員がチームとして利用者一人ひとりの今の思いや暮らし方の希望などの把握に努めています。利用者のちょっとした変化も気付くように心がけ、共有しています。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | ご家族やご本人、以前担当されていたケアマネージャーなどから情報を得て今までの馴染みの生活や趣味などが継続してできるように職員間での情報共有をしております。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。 | ケアプランの更新時に反映できるよう日常のケアの中から情報を収集し申し送り時やミーティングなどで情報共有をしております。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。 | ご本人の意向に沿った介護計画にする為、ご本人との会話や、ご家族、医療職、介護職からの情報を得て、現状に即した介護計画書を作成しています。 | 入居予約の時に要望を聞いています。前施設とも連携を図っています。入居時に管理者、介護計画作成者、看護師でアセスメントし、介護計画を作成しています。モニタリングは半年に1回行い、計画変更のある時は要望、確認、連絡を行っています。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。 | 個人記録へ日々の様子や言葉など日々の情報や気づきを記録し、抱えている思いをリサーチしカンファや申し送りにて情報共有や意見交換をして介護計画書への反映や見直しにいかしております。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。 | 現在必要なサービスや今後必要なサービスを考え、ご本人と家族の関係性や意向を考慮しながらかかりつけ医の受診の支援など必要なサービスに繋がれるように取り組んでいます。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。 | 地域住民や地域のボランティアの方々におこしいただき演奏会などの交流を通じて楽しんでいただけるよう取り組んでいます。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。 | 月に2回の定期往診を受けていただいています。ご家族や主治医と連携をとり、適切な治療を受けられるよう支援しています。 | 入居時にかかりつけ医は、提携医療機関の訪問医に替えてもらっています。月に2回の訪問医と歯科医の往診があり、眼科医の訪問診察は年に1回位の来訪があり受診しています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。 | 申し送りやケアの中での相談、個人記録への記入など情報共有をおこない、適切な受診や看護につなげています。また介護職員に対して看護師が処置などの指導もおこなっています。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院中は家族と連絡をとることや、お見舞いに行くなど本人の状態を把握するよう努めています。病院の看護師や相談員の方々と密に連携をとり情報の共有に努めています。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。 | 指針について入居時に説明して同意を交わし家族の意向を確認しています。入居後も重度化や終末期を迎える場合を考慮し、定期的の方針の確認や見直しをご家族と話し合っています。 | 入居時に本人、家族の意思確認を行っています。看取りの説明は状況に合わせて、その都度しています。医療処置が必要な場合は事業所での対応は行えませんが、ターミナルケアの名の下に職員の研修を、年1回行っています。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。 | 職員に対して管理者から発見時の対応や報告の指導を行っています。看護師からも初期対応や応急手当の指導をしてもらい、急変や事故発生時に備えています。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 | 川崎市の多摩消防署と連携し避難訓練などもおこなっております。災害時に対応出来る備蓄品や飲料水の自動販売機の設置などの備えもしております。地域の方々にも訓練の呼びかけ等の協力をしていただいております。 | 年2回の避難訓練を実施し、そのうち1回は消防署立ち会いで行なっています。隣接する系列のサービス付き高齢者住宅と協力しています。建屋オーナーが自治会への通報などを行っています。 | 災害時の備蓄品は、品名・個数・賞味期限などを一覧にして、ローリングストックなどで食糧の管理や、防火管理者を置くことも期待されます。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。 | 人生の大先輩であると認識し常に尊敬と敬意をもって接しております。ご利用者様の生活歴や性格、体調を考慮しながらその方にあった言葉かけや対応を心がけています。 | 毎日バイタルチェックを行い、体調管理をしています。食事の状況などにも気を付けています。管理者も時にフロアに入り全体の状況の確認に努めています。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。 | お一人お一人にあった言葉かけや選択肢を提案し自己決定や希望を表すことが出来るようにおこなっています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | 個人個人の生活史や性格などを把握し、その人のペースに合わせてお食事や、入浴などの支援をしています。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。 | TP0や季節にあわせた洋服を選択できるご利用者様がほとんどですが、判断が難しい方には一緒に洋服を選んで差し上げたり、身だしなみのお手伝いをするなどの支援ができています。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。 | お一人お一人の好みやできる力を把握し、食事の準備や後片付けなどを手伝っていただいています。 | 2階は後片付けもできる利用者が大半ですが、3階は難しい状況です。体が不自由になってきても職員は励ましながら、動かせる範囲での食事介助をしています。出来る限り好みに合わせた対応に努めています。食事の時には音楽を流しています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。 | 栄養バランスのとれたお食事を食べていただいております。個人の状態に合わせたご飯の盛り付けや適切な飲水量が確保できるように声掛けするなどの支援を行っております。個人記録に食事摂取量、水分量を記録し必要な量がとれているか把握しております。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。 | 食後のお声掛けにて口腔ケアをしています。口腔ケアが難しい方には歯磨きの準備や義歯の洗浄などの支援をおこなっております。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。 | ご本人からの尿意や便意の訴えにより誘導見守りパッド等の交換の支援をおこなっております。排泄パターンを記録し把握することで排泄の失敗やオムツ類の使用を出来る限り少なくするようにしております。 | 職員は利用者一人ひとりの排泄パターンを把握しています。本人が尿意を表明しても、待てる様子の時は少し待ってもらおうようにしており、少しずつ改善しています。一人ひとりの様子を見守り、支援しています。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。 | お一人お一人の水分量や食事量を把握し排泄の記録を残すことで便秘の早期発見と予防に努めています。体操や散歩、必要な飲水量の確保、おやつのお工夫などで排便コントロールの支援をおこなっております。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。 | お一人お一人の意思の尊重や身体の状態を考慮しながら、出来るだけご希望にあわせて入浴していただけるよう心がけています。 | 午前か午後、週2回の入浴を基準に対応しています。夜間の入浴はありませんが、そのことによる不満はありません。同性介助もしています。湯温は利用者の好みに合わせています。入浴を嫌う利用者もいますが適切な対応を図っています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。 | 体の状態や、生活習慣を把握し安心して睡眠がとれるようなお声掛けや入床のお手伝いをしております。日中の活動を促し生活リズムを整えられるように支援しております。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。 | 職員が薬の目的や副作用などが把握できるよう薬剤情報を随時確認しながら服薬支援をおこなっております。症状の変化や経過などを主治医に報告し連携に努めております。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。 | 誰かの役に立つことで生活に張り合いを感じ喜びの日々を過ごせるよう支援しております。お一人お一人の力を発揮できるよう、お願いできる事は頼み感謝の言葉をお伝えしております。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。 | ご希望の場所への外出や散歩など可能な限りおこなえるよう支援しております。ご家族様との外出支援ができるように連絡の調整や当日の準備、身体の状態の把握などもおこなっております。 | 事業所は平地にあり散歩もしやすく、職員に余裕がある時には、職員が付き添い、1人～数人で出かけています。スーパーマーケットへ買い物に行く場合もあります。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | 金銭管理は主に事務所でござっております。使用した額をご請求させていただく立替え制度をとっております。ご本人のご希望に応じ小額のお金を所持できるようにしております。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。 | ご本人様のご要望に応じてご家族と電話ができるように支援しております。大切な方々とのやり取りができるよう手紙を書くことへの支援もおこなっております。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 快適に過ごしていただけるよう、温度や湿度の管理もおこなっています。共用スペースなどでは、ご利用者様の作品を展示するなどして、ご利用者様やご家族様、職員とのコミュニケーションにつながるよう工夫しております。 | 共有空間はどこも清潔に保たれています。トイレも3ヶ所あり、利用者が落ち着いて使用できます。浴室も程よい広さでシャワーチェアや温度調整も整備され、安心して入浴できる配慮があります。リビングの飾りつけは、利用者と職員が一緒に作成し、季節に合った作品を展示しています。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。 | 気の合うご利用者様同士が過ごせるよう、テーブル席などの配慮をおこなっております。他ユニット同士でも交流をもち気分転換をはかっております。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | ご自宅でご使用されていたなじみの家具やお気に入りの物などをお持ちいただき、居心地よく過ごしていただけるように工夫しております。 | 部屋の飾りつけや家具の配置などは利用者と相談しながら、また家族の思いも取り入れながら居心地の良い居室にしています。利用者の状態にあわせた補助具の取り付けやセンサーの位置など居室担当者を中心に調整しています。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。 | お一人お一人の力をいかし、自立した生活がおくれるように家具の配置や、車椅子の置き場所などに配慮し安全な環境の整備に取り組んでおります。 | | |

| | |
|-------|--------|
| 事業所名 | 花物語たま北 |
| ユニット名 | 3階 |

| V アウトカム項目 | | | |
|-----------|---|---|----------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者の |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいの |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいの |
| | | | 4. ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ | 1, 毎日ある |
| | | | 2, 数日に1回程度ある |
| | | | 3. たまにある |
| | | | 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |

| | | | |
|----|---|---|----------------|
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1, ほぼ全ての家族と |
| | | | 2, 家族の2/3くらいと |
| | | | 3. 家族の1/3くらいと |
| | | | 4. ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1, ほぼ毎日のように |
| | | | 2, 数日に1回程度ある |
| | | | 3. たまに |
| | | | 4. ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えています。 (参考項目：4) | ○ | 1, 大いに増えている |
| | | | 2, 少しずつ増えている |
| | | | 3. あまり増えていない |
| | | | 4. 全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | ○ | 1, ほぼ全ての職員が |
| | | | 2, 職員の2/3くらいが |
| | | | 3. 職員の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1, ほぼ全ての家族等が |
| | | | 2, 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3. 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。 | 職員の目のとどく場所に理念の用紙を設置したり申し送りや会議などで話し合い職員と理念を共有し実践にむけて取り組んでいる。 | | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。 | 地域交流スペースを活用することにより近隣住民の方々とご利用者が交流できるよう事業所主催のイベントを開催している。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。 | 地域交流スペースをご利用された近隣住民の皆様に事業所での支援の方法や認知症の方の理解をしていただけるよう情報を提供している。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 2ヶ月に一度開催している。参加者はご家族、多摩区役所職員、町内会役員、オーナー、事業所職員です。活動状況などを報告し、会議でのご意見をサービスの向上にいかせている。 | | |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。 | 日頃から区役所の担当者の方と密に連絡をとったり、運営推進会議などで情報交換や相談できる関係を築く事ができている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | ミーティングや勉強会、ケアカンファレンスなどで職員と話し合い身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。 | 虐待防止マニュアルを参照し勉強会をおこなう事で虐待を見過ごさないよう取り組んでいる。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している。 | 管理者を中心に勉強会やカンファレンスなどで学ぶ機会をもち、活用できるように支援している。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。 | 入居時にご本人やご家族に事業所についての不安や疑問がないように説明をし理解していただいている。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 契約時の苦情相談窓口の説明や、入居者やご家族がご意見、ご要望などを話せる雰囲気づくりに配慮している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | 毎朝の申し送り時などで意見や要望を聞く場として活用し、だされた意見などは会議などで精査し反映させている。 | | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。 | 定期的に個人面談をおこない、勤務状況の把握し意見や相談がある場合は出来る限り希望を反映させるよう努めている。無資格者には資格取得支援制度などの奨学金制度も整備し向上心をもてるような環境に努めています。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。 | 資格取得の推奨や外部への研修などスキルやモチベーションの向上を働きかけています。法人内の別の施設の職員を受け入れ気づきなどについても学んでいます。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。 | 地域包括と連携をとり同じ地域の介護事業所の管理者やケアマネージャーを招き地域交流スペースにて意見交換や活動状況を報告しサービスの質の向上に努めています。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。 | 入居前に直接ご本人に要望や不安な事を聞き取り、アセスメントに反映させ会話の機会を多くもつことで信頼関係の構築につながるよう取り組んでいます。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。 | ご本人やご家族が困っている事や不安な事要望などを聞き取り介護支援計画書に反映させ安心して利用していただけるように努めています。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | 認知症の度合いやおかれている環境を把握し、必要とされているサービスに繋がられるように努めています。またグループホームに適切かどうかも考慮し場合によっては小規模多機能居宅介護や療養型の事業所への紹介をおこなっております。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。 | ご本人の意思を尊重しながら、ADLや意欲にそった方法で個別性を考慮した支援をおこなっています。他者や職員と協力し生活する事で暮らしを共にする物同士の関係性の構築に努めています。 | | |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。 | ご家族の意見も反映し、ご本人の情報を家族と共有することで一方通行にならないように心がけています。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 | 馴染みの方々に施設までお越しいただき、ご入居前と同じ友人関係の維持に努めています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。 | 日々のレクリエーションやお誕生日会、季節の行事などの交流を通して良好な関係が構築できるように支援しています。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | ご家族を通じて情報提供などの支援をおこなっております。入院時にはお見舞いやお手紙などによりよい関係が継続できるように努めています。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 日常のかかわりのなかで表情や仕草、会話などから汲み取っています。アセスメントをおこない申し送りやカンファレンスにて思いや意向が把握できるように努めています。 | | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | ご家族やご本人、以前担当されていたケアマネージャーなどから情報を得て今までの馴染みの生活や趣味などが継続してできるように職員間での情報共有をしております。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。 | ケアプランの更新時に反映できるように日常のケアの中から情報を収集し申し送り時やミーティングなどで情報共有をしております。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。 | ご本人の意向に沿った介護計画にする為、ご本人との会話や、ご家族、医療職、介護職からの情報を得て、現状に即した介護計画書を作成しています。 | | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。 | 個人記録へ日々の様子や言葉など日々の情報や気づきを記録し、抱えている思いをリサーチしカンファや申し送りにて情報共有や意見交換をして介護計画書への反映や見直しにいかしております。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。 | 現在必要なサービスや今後必要なサービスを考え、ご本人と家族の関係性や意向を考慮しながらかかりつけ医の受診の支援など必要なサービスに繋げられるように取り組んでいます。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。 | 地域住民や地域のボランティアの方々におこしいただき演奏会などの交流を通じて楽しんでいただけるよう取り組んでいます。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。 | 月に2回の定期往診を受けていただいています。ご家族や主治医と連携をとり、適切な治療を受けられるよう支援しています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。 | 申し送りやケアの中での相談、個人記録への記入など情報共有をおこない、適切な受診や看護につなげています。また介護職員に対して看護師が処置などの指導もおこなっています。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院中は家族と連絡をとることや、お見舞いに行くなど本人の状態を把握するよう努めています。病院の看護師や相談員の方々と密に連携をとり情報の共有に努めています。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。 | 指針について入居時に説明して同意を交わし家族の意向を確認しています。入居後も重度化や終末期を迎える場合を考慮し、定期的の方針の確認や見直しをご家族と話し合っています。 | | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。 | 職員に対して管理者から発見時の対応や報告の指導を行っています。看護師からも初期対応や応急手当の指導をしてもらい、急変や事故発生時に備えています。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 | 川崎市の多摩消防署と連携し避難訓練などもおこなっております。災害時に対応出来る備蓄品や飲料水の自動販売機の設置などの備えもしております。地域の方々にも訓練の呼びかけ等の協力をしていただいております。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。 | 人生の大先輩であると認識し常に尊敬と敬意をもって接しております。ご利用者様の生活歴や性格、体調を考慮しながらその方にあった言葉かけや対応を心がけています。 | | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。 | お一人お一人にあった言葉かけや選択肢を提案し自己決定や希望を表すことが出来るようにおこなっています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | 個人個人の生活史や性格などを把握し、その人のペースに合わせてお食事や、入浴などの支援をしています。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。 | TPOや季節にあわせた洋服を選択できるご利用者様がほとんどですが、判断が難しい方には一緒に洋服を選んで差し上げたり、身だしなみのお手伝いをするなどの支援ができています。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | お一人お一人の好みやできる力を把握し、食事の準備や後片付けなどを手伝っていただいています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。 | 栄養バランスのとれたお食事を食べていただいております。個人の状態に合わせたご飯の盛り付けや適切な飲水量が確保できるように声掛けするなどの支援を行っております。個人記録に食事摂取量、水分量を記録し必要な量がとれているか把握しております。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。 | 食後のお声掛けにて口腔ケアをしています。口腔ケアが難しい方には歯磨きの準備や義歯の洗浄などの支援をおこなっております。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。 | ご本人からの尿意や便意の訴えにより誘導見守りパッド等の交換の支援をおこなっております。排泄パターンを記録し把握することで排泄の失敗やオムツ類の使用を出来る限り少なくするようにしております。 | | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。 | お一人お一人の水分量や食事量を把握し排泄の記録を残すことで便秘の早期発見と予防に努めています。体操や散歩、必要な飲水量の確保、おやつの工夫などで排便コントロールの支援をおこなっています。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。 | お一人お一人の意思の尊重や身体の状態を考慮しながら、出来るだけご希望にあわせて入浴していただけるよう心がけています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。 | 体の状態や、生活習慣を把握し安心して睡眠がとれるようなお声掛けや入床のお手伝いをしております。日中の活動を促し生活リズムを整えられるように支援しております。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。 | 職員が薬の目的や副作用などが把握できるよう薬剤情報を随時確認しながら服薬支援をおこなっております。症状の変化や経過などを主治医に報告し連携に努めております。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。 | 誰かの役に立つことで生活に張り合いを感じ喜びの日々を過ごせるよう支援しております。お一人お一人の力を発揮できるよう、お願いできる事は頼み感謝の言葉をお伝えしております。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。 | ご希望の場所への外出や散歩など可能な限りおこなえるよう支援しております。ご家族様との外出支援ができるように連絡の調整や当日の準備、身体の状態の把握などもおこなっております。 | | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | 金銭管理は主に事務所でござっております。使用した額をご請求させていただく立替え制度をとっております。ご本人のご希望に応じ小額のお金を所持できるようにしております。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。 | ご本人様のご要望に応じてご家族と電話ができるように支援しております。大切な方々とのやり取りができるよう手紙を書くことへの支援もおこなっております。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 快適に過ごしていただけるよう、温度や湿度の管理もおこなっています。共用スペースなどでは、ご利用者様の作品を展示するなどして、ご利用者様やご家族様、職員とのコミュニケーションにつながるように工夫しております。 | | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。 | 気の合うご利用者様同士が過ごせるよう、テーブル席などの配慮をおこなっております。他ユニット同士でも交流をもち気分転換をはかっております。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | ご自宅でご使用されていたなじみの家具やお気に入りの物などをお持ちいただき、居心地よく過ごしていただけるように工夫しております。 | | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。 | お一人お一人の力をいかし、自立した生活がおくれるように家具の配置や、車椅子の置き場所などに配慮し安全な環境の整備に取り組んでおります。 | | |

平成30年度

目標達成計画

事業所名 花物語たま北

作成日： 平成 31年 4月 5日

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|---|---------------------------|---|------------|
| 1 | 34 | 災害時の備蓄品は、品名・個数・賞味期限などを一覧にして、ローリングストックなどで食料の管理や、防火管理者を置くことも期待されます。 | 災害時にスムーズに活用できるような管理をおこなう。 | 備蓄庫の整理をおこない、誰がみてもわかりやすい一覧表を作成し、月に一度防火管理者を中心に、備蓄品の管理をおこなっていく事といたします。 | 3ヶ月 |
| 2 | | | | | ヶ月 |
| 3 | | | | | ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |